

主題	言語聴覚士の導入による口腔リハビリの活性化とその成果について
副題	食事を口から食べるために

言語聴覚士	口腔リハビリ	研究期間	37ヶ月
-------	--------	------	------

事業所	社会福祉法人多摩養育園 多摩特養老人ホーム
-----	-----------------------

発表者：松川伸生（まつかわ のぶお）	アドバイザー：
--------------------	---------

共同研究者：金子るり子

電話	042-691-0074	E-mail	info@tamatokuyou.net
FAX	042-692-3592	URL	http://www.tamatokuyou.net/

今回発表の事業所やサービスの紹介	東京都八王子市宮下町355 従来型特別養護老人ホーム 入所：80床 ショートステイ：2床
------------------	---

《1. 研究前の状況と課題》

平成16年頃は誤嚥性肺炎による入院者が多数出ている状況であった。

平成17年から非常勤で理学療法士（以下PT）・作業療法士（以下OT）が介入し、介護職員が食事介助の基本を教わり始め、入院者数が著しく減ってきた。しかし、年々ご利用者の重度化が進み、嚥下が困難な方が増え、誤嚥の危険がある方が増加しており、介護職員のスキルも求められるようになってきた。

平成24年4月からの社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正に伴い、平成23年度から介護職員の嚥痰吸引の施設内研修が必要になり、また、利用者ご家族からも食べさせたいという要望があり職員に求められるものが多くなってきた。また経管栄養（胃ろう）のご利用者も増加しており、医務の対応が困難になってきていた。

そのような中で何かできることはないか、というのが事業所としての課題であった。

平成23年5月からの言語聴覚士（以下ST）導入にあたり、何人かに声をかけるが「病院では食べさせないような人でも食べさせるので特養は怖い」と断られている。また当時は東京都の特養でSTを雇用している施設が少なく法人内で雇用条件の検討も必要であった。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

飲み込みの悪い方が増える中で、これ以上経管栄養の方を増やさないために、ご利用者がいつまでも口から食事が食べられるようになることを期待し、またどのような訓練・リハビリを行ったら良いのか、ST主導による口腔リハビリの活性化の取り組みを行った。

《3. 具体的な取り組みの内容》

- ST の雇用（月2回）
（その他リハビリスタッフ）

OT 月4回 1名

PT 月1回 1名

月2回 2名

- 評価の流れ

介護、看護職員が嚥下状態の悪い方をピックアップしST出勤時に評価依頼

→個人ごとのリハビリメニュー作成、介護職員の関わり方のアドバイス

（PT、OT等リハビリ専門非常勤職員の活用方法についてはアクティブ福祉 in 東京 '08で発表しているため本研究発表では省略。

評価依頼→介護職員へフィードバックする流れの土台はできていた。）

- 部署間の連携

PT、OT…シーティング等評価

訪問歯科…口腔リハビリ、嚥下内視鏡検査

栄養士…食事形態等

ケアマネ…プラン作成、サービス会議開催

相談員…ご家族、本人へ状況説明、同意

介護…食事時を中心に観察、リハスタッフへの情報提供、評価のフィードバック

医務…上記に対し総合的に関わった。

- 活動のポイントとなった点

訪問歯科がST導入と同時期に2社となり、新しく入った方は積極的にリハビリに関わってもらえた。定期的な嚥下内視鏡検査は介護職員の研修としても扱った。

《4. 取り組みの結果と考察》

• 訪問歯科から「口の中がきれいになった」と言われるようになった。

• 胃ろうを造設した後でも、口から食べることができるようになった方が増えた。

• STの評価が根拠となって介助を行うことができるようになった。

• 食べたいという気持ちが強く訓練に過度な期待を持つご利用者も出て来、ご家族を含めてリスクの説明が難しいケースも出た。

《5. まとめ、結論》

経管栄養になっても諦めずにリハビリを続けることが大事であること。根拠を元にした介護が思い切ることができるのはSTがいるからである。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究発表を行うにあたり、ご家族に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

なし。

《8. 提案と発信》

高齢化が進み、摂食・嚥下障害を持ったご利用者はこれからさらに増えると思われる。地域に求められる施設となるためにSTとの連携は非常に有効である。

【メモ欄】